上を17年度分の入札参加資とする。

になるのは、いずれも単価ある「配水管移設工事等」整備工事」「管路センター管内下水道築造工事等」。期間評価の対象となるのは4月1日契約分から。「管路センター管内下水道築造工については2件以上のものとして活用する。

参加資格への適用は、17年日以降の同種の工事請負契となる。

反映

度

▼ 名古屋市上下水道局 単契3工種 ▲

工事成績評定 平均点算出 対象を拡大

名古屋市上下水道局は、入札参加資格の基準の一つである工事成績評定の平均点（65点以上）を算出する際の対象工事を拡大する。従来は総価契約工事だけだった単価契約工事の成績を合算して算出する。

工事成績評定については、2016年度の契約分から対象にする。平均点は、総価契約工事と単価契約工事の成績を合算して算出する。

また、16年度の単価契約工事の工事成績評定が出るのが17年4月以降になる関係で、新たな算出方法による平均点の適用は、総価契約工事の発注では17年6月公告分から、単価契約工事では18年4月1日契約分から施工の品質を向上させるのが狙いとする。

追加する単価契約工事の工事成績評定は、2016年度の契約分から対象にする。平均点は、総価契約工事と単価契約工事の成績を合算して算出する。

また、16年度の単価契約工事の工事成績評定が出るのが17年4月以降になる関係で、新たな算出方法による平均点の適用は、総価契約工事の発注では17年6月公告分から、単価契約工事では18年4月1日契約分からとする。

云に2.3億

教育委

発注＝校（中区）の3校。分離決め＝棟（鉄筋コンクリート造平屋約332平方㍍）では、高校＝既設の天井を撤去し、その状態のままとする。商業＝名古屋商業高校では、

▽志の改修＝局配分財源で対た歴＝応（1億4400万円）▽30＝スポーツセンターなど窓0万＝ガラス飛散防止対策＝50の設＝200万円（6300万00円）▽名古屋市体育館の17～＝空調設備など整備の設計を設＝500万円（600万ター円）▽森川邸田舎家の再計＝（5100万円）▽

現整備＝7000万円（7300万円）▽中学校へのエレベーター整備の設計＝900万円（900万円）▽スポーツセンター・生涯学習センターほかの天井など落下防止対策＝2億5800万円（2億8100万円）▽未計上査定で検討▽教育館移転改築の設計＝（5100万円）▽

総合実践実習室（鉄筋コンクリート造約410平方㍍）を対象に、既設のつり天井を撤去し、躯体にグラスウールを直貼りする。また、多目的ホール棟（同2階建て延べ675平方㍍）を対象に、既設のつり天井を撤去し、鉄骨下地を設ける。

各校とも、落下防止措置に合わせて、既設の空調ダクトや電気設備（照明機器や音響機器）など支障物の更新を行う。

老朽化した管理諸室の空調設備更新＝（6億2400万円）▽学校運動場の改修＝（3億2200万円）▽学校トイレさわやか改修＝3600万円▽博物館の魅力向上のための基本構想の策定＝局配分財源で対応（2000万円）▽美術館の遊歩道など改修＝（3400万円）▽瑞穂公園の再整備＝（7600万円）

に3億7400万円を限度額とする17年度債務負担行為を設定）▽瑞穂公園野球場への防球ネット設置＝（1億1400万円、1億0800万円を限度額とする17年度債務負担行為を設定）▽瑞穂公園北陸上競技場の音響設備改修＝（3400万円）▽瑞穂公園の再整備＝（7600万円）

同樋管は東海市が管理

力」に「定住化施策」を

市道藤島1号線などの事

市民会館などの改修も計

業界・行政ニュース

愛知県

全国防草ブロック工業会が銅賞受賞

愛知環境賞に15件

愛知県環境部は、2016愛知環境賞に41件の応募の中から15件を選定した。建設関連では、全国防草ブロック工業会（豊田市）が銅賞を受賞したほか、山田組（名古屋市中川区）、パナソニックエコシステムズ（春日井市）などが優秀賞に選ばれた。18日に表彰式を開く。

愛知環境賞は、資源循環や環境負荷の低減を目的とした先駆的な事例を募集し、優れた取り組みを表彰する制度。05年に創設し、今回が12回目となる。今回は、41件の応募の中から、金賞1件、銀賞1件、銅賞2件、中日新聞社賞1件、名古屋市長賞1件、優秀賞9件の合計15件を選定した。

全国防草ブロック工業会は、「世界初の防草機能を持つ道路二次製品」で銅賞を受賞した。植物の成長特性を利用し、道路側溝とアスファルトの隙間から草が伸びてこないようにする製品。雑草が生えない道路環境を実現し、環境負荷の低減に貢献することが高く評価された。

山田組は都市内農地・農業公園を活用した持続可能な環境・農業・防災体験学習の実践で、パナソニックエコシステムズは太陽光発電向けパワーコンディショナ用冷却ユニットで優秀賞を受賞した。優秀賞にはこのほか、福田三商（名古屋市南区）や矢留工業（春日井市）なども選ばれた。

表彰式は、2月18日にローズコートホテル（名古屋市中区大須4ノ9ノ60）で行う。大同大学学長の澤岡昭氏による「奇跡をおこした人間力～日本の宇宙探査を中心に」と題した講演も行う。

参加申し込み・問い合わせ先は同部資源循環推進課循環グループ 電話052（954）6233。

愛知県

3月16日に

新エネルギービジネス交流会

愛知県産業労働部は、新エネルギー分野におけるビジネス交流会を3月16日に開くため、参加者を募集している。申し込みは先着順で、定員になり次第締め切る。

交流会は、県内企業が新エネルギー関連分野に事業参入する契機としてもらうため開催する。中小企業基盤整備機構中部本部の榊原郁夫プロジェクトマネージャーが「中小企業の新分野開拓・新事業展開について」と題して講演行う。また、新エネルギー関連製品の開発に取り組む企業として、シンフォニアテクノロジーと東朋テクノロジーが求める技術を紹介する。その後、参加者と専門家、技術紹介企業の担当者が個別面談できる交流会を行う。

時間は午後3時30分から5時まで。場所はスカイホール豊田（豊田市八幡町1ノ20）。

対象は新たな事業展開や取り組みに関心のある県内中小企業の経営者や実務担当者など。定員は80人。参加費は無料。

申し込み・問い合わせ先は同部産業科学技術課新エネルギー産業グループ 電話052（954）6350。

新商品・新技術ウオッチ

最大スイング角は左右28度。運転者の立ちステップ・操作レバー・スイッチ・メーターなどは常